

令和7年度 さいたま市立与野南中学校 学校だより

みなみかぜ



南風

第 6 号

令和7年 9月 26日発行

<http://yonominami-j.saitama-city.ed.jp>

＜学校教育目標＞ 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

タンポポ色の気持ちがいい行動

校長 正田 真由美

今年は、昨年以上に9月になっても30度を超える暑さの日が続いています。そんな中、南中生の多くの人は学習に部活動に頑張っています。その姿を見て、「よく頑張っているな～、すごい!!」と、私は心の中で思っています。9月1日から教育実習に卒業生を含む2名の大学生が来ていました。その実習生の方々も部活動に参加し、中学生と一緒に取り組んで頑張っていました。数日間ではありましたが、中学生に近い年齢なので、部活動にも元気が増していたように感じました。それぞれにとっても貴重な時間であったと思います。

9月の間に、私がステキだなと思った南中生の気持ちいい行動が2つありました。1つ目は、つい先日、2年生と2年生の保護者で行った除草朝礼の時のことです。朝から30度を超える暑さの中、朝の読書と清掃の時間を合わせて25分間の除草に取り組みました。3年生は1学期、1年生は9月上旬に行いました。2年生と2年生の保護者が校庭やテニスコートの周りの草を暑さと我慢比べをしながら、たくさん抜いてくれました。最後に抜いた草の入った袋をテニスコート脇に集めていた時、テニスコート内側の草の入った袋を持っていた保護者の所へ袋を取りに行ってくれた3人の男子がいました。1人目は自分から進んで2袋を手を持ってテニスコートから出て来ました。2袋持ってくる心遣いがステキな行動だと思いました。2人目は、スッと手を出して草の入った袋を閉じてくれました。3人目は、テニスコート内で保護者が運んでいた袋を取りに行き、集めている場所まで運んできました。保護者に「ありがとう!」と声をかけてもらっていた時は、ちょっと恥ずかしそうな感じに見えましたがステキな行動でした。気持ちのいい行動を普通にできることは、それを見ている側、してもらった側の心の中にもタンポポ色の気持ちがいっぱい伝わって温かさが広がってきます。

2つ目は、9月中旬のある日、朝掃除の時でした。私が2年生と一緒に職員室前の廊下を掃除していて、最後に自在ぼうきのゴミ取りをしていたら、近くの廊下掃除を担当している1年生の男子が何も言わずにすーっとゴミをミニぼうきで集めて取ろうとしてくれました。私が「2年生がやる分だから、やらなくていいよ。」と声をかけたのですが、「やります。」と言って塵取りで、もくもくとゴミを取ってくれました。さらに同じ班の人たちもステキな心の持ち主でした。ゴミを取らなければ早く教室に戻れるのという声を出すことなく、ゴミを取っている人を周りで見守ってくれていました。私は、ゴミを取り終えた時に「ありがとう!」と伝えましたが、同時にすーっと掃除をしてくれた行動にタンポポ色の優しさを感じました。

この2つのことは、日常の何気ない場面ではありますが、嫌な顔や言葉を出さず、普通に行動できることはステキなことですし、人に対して気遣える心が成長していると思います。南中生の中にこのような心がたくさん広がって、気持ちいい行動が増えていくことを願っています。

いよいよ、新人体育大会がスタートします。運動部の1・2年生のみんなが協力して、今までの努力を十分に発揮し、それぞれの部活動が頑張ってくれることを期待しています。